



主な内容

3~6ページを、抜き取ってご使用ください



ごみ収集日程表 (10月~3月)
ごみの分け方・出し方

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp http://www.city.nabari.lg.jp

認知症サポーターとは
認知症の人の応援者です

認知症はだれでもかかる可能性
があります。認知症になると、生
活する上でいろいろな困りごとが
出てきて、本人の不安や戸惑いは

もちろん、介護する家族のストレ
スなども大きくなります。
また、認知症の人は、住む環境
が変化すれば症状が進行すると言
われています。住み慣れた地域で
認知症の人が生活するには、周り
に多くの応援者(サポーター)が

市では、認知症になっても住み慣れたところで安心して暮らせるま
ちを目指しています。認知症に対する理解を深め、認知症の人やその
家族を温かい目で見守る応援者「認知症サポーター」にあなたもなり
ませんか。

☎ 地域包括支援センター 63-7833



自分のできることから始めてみませんか?

もしも、自分が認知症になっ
ても安心して暮らせる地域であ
りたいと思いませんか。
認知症サポーターになったら、
地域でさりげない見守りをする、
優しく声をかける、友人や家族
に学んだ知識を伝えるなど、自
分のできる範囲で活動してくだ
さい。地域の環境を整えば、認
知症の人の不安は一つ解消され
るのです。オレンジリングを腕
に付けて、皆さんも、できるこ
とからはじめてみませんか。

地域の皆さんで認知症サポーターに

必要です。「認知症サポーター」とは、何か特別なことをする人では
ありません。認知症のことを正しく理解し、認知症の人や
その家族を温かく見守る応援者
なのです。

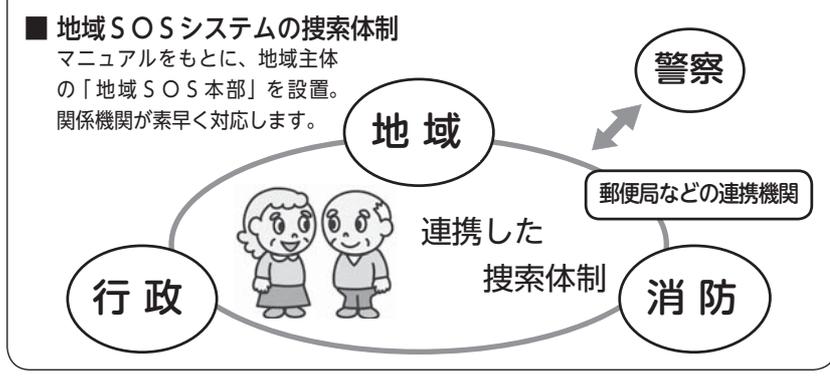
認知症の理解を深め、地域でで
きることを考えてもらうため、「認
知症サポーター養成講座」を実施
しています。講座では、認知症の
症状や認知症の人と接する時の心
構えなどを分かりやすく説明しま
す(90分程度)。講座を受けるこ
と、サポーターの証である「オレンジ
リング」をお渡ししています。
自治会、各種団体などの依頼に
より講座を開催し、市内では、現
在2152人のサポーターがいま
す。受講希望の団体は、地域包括
支援センターや各地域のまちの保
健室へご連絡ください。

認知症の相談窓口

- 地域の相談窓口**
- 各地域まちの保健室 詳しくは8ページに掲載
 - 地域包括支援センター(市役所1階 ☎63-7833)
 - 医療機関 ※まずはかかりつけ医にご相談を
- 電話で相談したいときは**
- 三重県認知症コールセンター(平日)
☎059-235-4165 午前9時30分~午後5時30分
 - 認知症の人と家族の会(平日)
☎0120-294-456 午前10時~午後3時
 - 介護支え合い電話相談センター(平日)
社会福祉法人浴風会 ☎0120-070-608
午前10時~午後3時
- 認知症疾患医療センターの電話相談**
- 三重大学医学部付属病院(月・水のみ)
☎059-231-6029 午前10時~午後3時30分
 - 県立こころの医療センター(平日)
☎059-235-2125 午前8時30分~午後4時

行方不明者の早期発見マニュアルを策定

市内で認知症の高齢者などが行方不明にな
る事案が増えていきます。
万が一、高齢者が行方不明になり公開捜索
が必要になったときなどに、地域の人々や関
係機関が連携して、早期発見・保護につなげ
ていくことを目的とした地域SOSシステム
「高齢者など行方不明者早期発見マニュアル」
を策定しました。
☎ 危機管理室 63-7271



▼「広報なばり」は新聞折り込みで配付しています。また、公民館や図書館などの公共施設、郵便局、スーパーおよびコンビニ(協力店)などに置いてあります。そのほかの入手方法は、
広報対話室(☎63-7402)へお問い合わせください。▼「広報なばり」の発行と主な内容を電子メールでお知らせします。詳しくは市のホームページをご覧ください。